

大人のチカラ

27

～子どもたちの未来のために～

父親の役割③

地域を活性化する「おやじ」の力

い くら積極的に育児に参加しているとはいえ、自分ひとりだと不安を感じることも。情報を入手する、また仲間を増やすことで、父親としてさらに充実した生活が送れます。地域の中で、子育てを通して自分にできることを探してみましょ。

子育て仲間を増やし互いに情報交換を

育児に携わる上で、情報源は強い味方。ママ友ならぬパパ友を作って、父親同士で育児情報を分かち

合ってみてはどうでしょう。

とは言え、父親の仲間作りは結構難しいもの。そこで

で香川大学教育学部准教授の松本博雄さんは、次のようにアドバイスをします。「参観日や運動会などの時、

ビデオ記録係といった明確なミッションがあれば、積極的にその場に参加できます。同じミッションを与えられた者同士、自然と会話が弾み打ち解けられるという先輩パパもいます。就園前の子どもの場合、これを公園などに置き換えて考えるといいかもしれません。さらに高松市や丸亀市など各市町によっては、母子手帳と一緒に父子手帳も配布されます。育児に関する情報が詰まっているのでぜひ参考にしてください。

「おやじ」の活動が地域貢献の原動力に

県内には、積極的に活動している父親サークルも存

在します。「さぬきおやじ連合」もその一つ。「おやじ」が集まって始まった県内各地の「おやじの会」で組織されたネットワークで、情報交換や交流を行う場として現在16団体が所属しています。

各おやじの会はPTAやそのOB、地域の人などが中心となった父親の会。子どもたちの活動支援を柱に、地域の活性化にも貢献しています。「仕事以外の地域でのネットワークができることにより、

人生の幅が広がります。将来的には地域に仲間がいる

ことは心強いものです」と話すのは、同連合代表の早谷川悟さん。今後の人生を豊かに過ごすためのきっかけとも言えるでしょう。

自分の子どもから地域の子どもへと視界を広げるとも、父親の大切な役割。自分の子どもに対しての接し方も変わってくるでしょう。

